

2026 年度 武蔵野学院大学 国際コミュニケーション学部
総合型選抜第3回の「プレゼンテーション」

試験科目

①プレゼンテーション (60 点)

以下のテーマについて、面接者（2名）の前で、約3分間のプレゼンテーションをしてもらいます。

その後、プレゼンテーションの内容に関する質疑応答の時間があります。

テーマ

「マイノリティとマジョリティが共生できる社会とはどのような社会か」

テーマの主旨

2025年現在、いまだ世界の各地で紛争や侵略、ジェノサイド（大虐殺）が続いている。歴史を振り返ると、そうした争いの火種には、肌の色や目の色、髪の色、生まれ持った体型、心の特性、性・ジェンダーをめぐる社会的アイデンティティ、生まれた場所や国、育った場所や地域など、人間の変えられない特性や属性を「劣ったもの」として価値づける、歴史的な「差別」が存在してきました。こうした「差別」によって生み出されるマイノリティ（少数派）とマジョリティ（多数派）とは、教育や労働、医療や福祉などに関してアクセス可能/不可能な機会が生まれることにより、互いに違う現実性を生きることになります。ゆえにマイノリティが生きている現実性、マジョリティが生きている現実性の違いを互いに理解し、その違いを生み出す「差別」を是正することは、あらゆる人がともに生き合うことのできる共生社会を営む上で、非常に重要になります。

皆さんには、「マイノリティとマジョリティがともに共生できる社会」とはどのような社会かを考えてもらい、それが「すべての国と地域に」行き渡るために個人や国家、国際社会などがすべきことを提言してもらいます。

ただし、面接者の前で行うプレゼンテーションですから、あなた自身にしか分からない言葉を用いる、説明が不十分であるなどの場合には、高い評価を得ることはできません。あなたの興味・関心に詳しいとは限らない面接者に対し、理解してもらえるように工夫しましょう。したがって、「共生社会」を象徴する写真や絵、音などのツールを自由に用いてください。また、動画の作成なども歓迎します。創意工夫を凝らして理路整然と順序立てて話すようにしましょう。